

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター
所 長 長 嶺 和 弥
(公 印 省 略)

病害虫発生予察特殊報について

平成31年度病害虫発生予察特殊報 第7号を発表したので送付します。

平成31年度病害虫発生予察特殊報第7号

1 病 害 虫 名 : モンステラさび病(仮称)

2 病 原 菌 : *Uredo* sp.

3 発 生 地 域 : 沖縄本島、伊江島

4 発 生 作 物 : モンステラ

5 発生確認及び発生状況

令和元年8月に沖縄本島中部および伊江島のモンステラ栽培ほ場で、葉に黄色や褐色の斑点症状が確認された(図1)。沖縄県農業研究センターでの簡易同定によりさび病菌が検出されたことから、農林水産省那覇植物防疫事務所に同定を依頼したところ、本菌の形態的特徴及び28S large subunit RNAの一部とcytochrome c oxidase subunit 3(CO3)の遺伝子解析の結果から、*Uredo* sp.による病害であることが明らかになった。本属菌によるモンステラでの病害発生は国内で初めてである。

沖縄本島及び伊江島で発生状況調査を行った結果、発生ほ場率は66.6%であった。

6 病徴

葉に径2-3mmの円形の黄色斑又は黄色のハローを伴う不整形の褐色斑が認められる(図2)。黄色斑が進展し褐色斑となり、さらに病斑どうしが結合して拡大すると推測される。主に黄斑部の裏面に微細な赤褐色粉状物(夏孢子堆)及び夏孢子を内包する隆起物を形成する(図3)。夏孢子堆は無色の夏孢子と有色の夏孢子から構成される(図4)。

7 病原菌の特徴と伝搬方法

- (1) 本菌は糸状菌の一種であり、担子菌類に属する。
- (2) 本菌は風雨で伝染拡大する。

8 防除対策

- (1) 早期発見に努めるとともに、罹病葉は発生源となるので速やかに取り除き、ほ場外に持ち出し適切に処分する。
- (2) 多湿条件になると感染を助長すると考えられるので、通気性確保のため、過度に繁茂させ

ない。

(3) 罹病株からの株分けによる増殖は避ける。



図1. 罹病したモンステラの葉

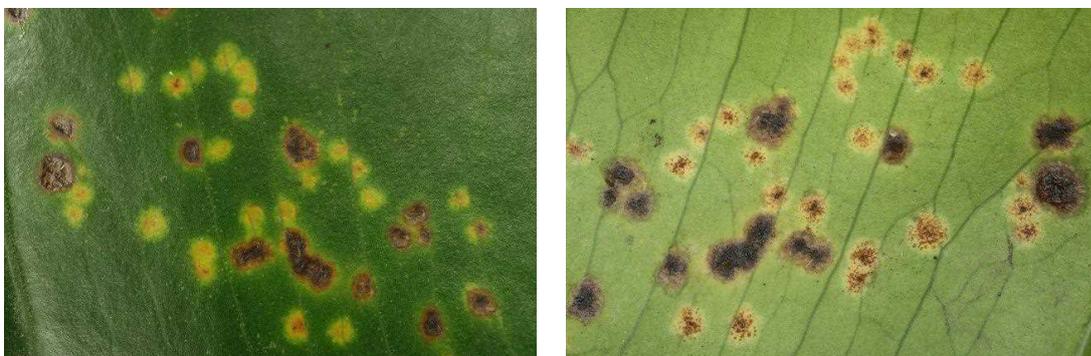


図2. 葉の黄色斑と褐色斑(左:表側、右:裏側)

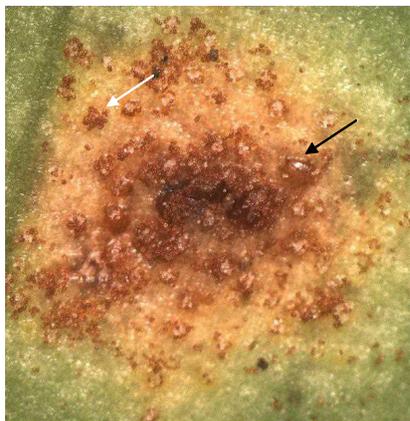


図3. 夏胞子堆(白矢印)及び
隆起物(黒矢印)

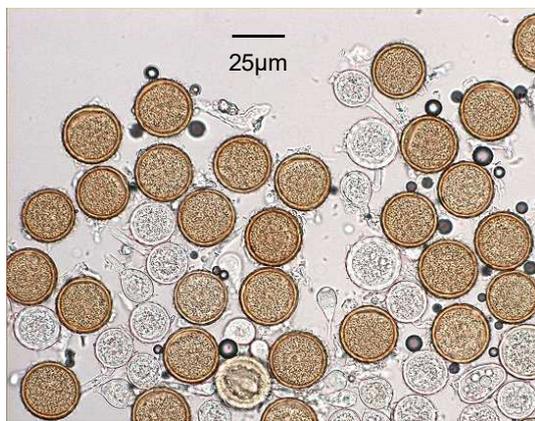


図4. 無色と有色の夏胞子

* 図1-4の写真は植物防疫所により原図提供。無断転載を禁ずる。

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所)098-886-3880、(宮古駐在)0980-73-2634、(八重山駐在)0980-82-4933

ホームページアドレス: <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>